

# 令和元年度の決算状況

## 1 一般会計決算の概要

(単位：千円)

区分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
歳入総額 (a)	202,427,510	191,632,928	10,794,582	5.6 %
歳出総額 (b)	187,324,637	178,050,009	9,274,628	5.2 %
形式収支 (c) = (a) - (b)	15,102,873	13,582,919		
翌年度へ繰越すべき財源 (d)	7,725,297	7,744,734		
実質収支 (e) = (c) - (d)	7,377,576	5,838,185	1,539,391	26.4 %

## 2 前年度決算額からの主な増減要因

※増減額及び増減率は千円単位で計算

### (1) 歳入

(単位：億円)

款	元年度	30年度	増減額※	増減率※	主な増減要因	(参考) 令和2年度予算
1 市 税	1,208.3	1,166.8	41.5	3.6 %	固定資産税 +55.6億円	996.8
15 国庫支出金	209.7	173.1	36.7	21.2 %	ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金 +12.5億円	203.7
21 諸 収 入	60.4	100.0	△ 39.6	△ 39.6 %	北地区再開発事業貸付金元金収入 △35.9億円	57.9
22 市 債	99.3	42.7	56.6	132.7 %	教育債 +32.8億円	75.0

### (2) 歳出

(単位：億円)

款	元年度	30年度	増減額※	増減率※	主な増減要因	(参考) 令和2年度予算
3 民生費	568.3	526.2	42.2	8.0 %	高嶺こども園建設費 +8.6億円	601.9
8 土木費	347.6	331.5	16.1	4.9 %	内環状線建設費(竜宮橋) +14.4億円	315.1
10 教育費	336.3	301.6	34.8	11.5 %	空調機器整備費(小・中) +52.1億円	265.3
12 公債費	97.1	123.0	△ 25.8	△ 21.0 %	元金 △25.1億円	79.5

## 3 市税の推移

